

パナマ内政・外交（2021年7月定期報告）

【ポイント】

- ファイザー・ビオンテック社のワクチンが毎週パナマに到着するとともに、米国政府からの供与分に加え、COVAXファシリティーの枠組みにおけるファイザー社ワクチンもパナマに到着した。
- 26日より、パナマ首都圏等における夜間外出禁止時間が短縮された。
- 1日、本年度通常国会が開会し、クリスピーアーノ・アダメスPRD議員が国会議長に選出されると共に、コルティソ大統領が演説を行った。
- 7日、パナマ外務省は、モイーズ・ハイチ大統領暗殺にかかるプレスリリースを発出した。
- 17日から19日、茂木外務大臣が当地を訪問し、コルティソ大統領を表敬した他、モイネス外務大臣との会談及びパナマ運河視察を行った。
- 23日及び24日、モイネス外相は墨において開催された第21回CELAC外相会合に出席した他、エブラル墨外相と間で、戦略的連携協定に署名した
- 28日、モイネス外相は、カスティージョ・ペルー新大統領就任式等出席のため、ペルーを訪問した。

【本文】

●内政

1 新型コロナウイルス関連

（1）ファイザー社ワクチンの到着等

ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）との直接契約分のワクチンが毎週パナマに到着した他、21日には、米国政府から供与されたファイザー社ワクチン50万3,100ドース及びCOVAXファシリティーの枠組みにおける初のファイザー社ワクチン10万620ドースもパナマに到着した。なお、1月から7月末までに到着したファイザー社ワクチンの合計総数は345万8,610ドースにのぼり、同日までに、267万9,699ドースのワクチン接種（ファイザー社及びアストラゼネカ社ワクチン）が実施された。

（2）夜間外出禁止時間の短縮等

26日より、パナマ首都圏において、夜間外出禁止時間が短縮（午後12時から午前4時まで。従来の午後10時より2時間延長、終了時間は同じ）されるとともに商業施設の営業時間が延長（午後11時まで。従来の午後9時から2時間延長）された。

2 通常国会の開会

1日、本年度通常国会（前期）が開会し、与党PRDのクリスピーアーノ・アダメス議員が国会議長に選出されると共に、コルティソ大統領が演説を行ったところ、演説要旨以下のとおり。

（1）政府の経済再活性化戦略は、5つの重点分野（①ワクチン接種戦略の実施、②中小企業支援、③公共インフラの再活性化、④金融セクター等の保護、⑤外国直接投資の誘致）における施策に基づいている。同戦略は医療、社会及び経済のバランスを取りながら実施していく。

（2）経済再活性化のための施策として、安全、効果的且つ周到に計画されたワクチン接種戦略の実施である。ワクチンなしでは、再活性化はあり得ない。パナマは900万ドース以上（ファイザー社及びアストラゼネカ社）のワクチン調達を承認したが、これらは全てのパナマ国民をカバーするものである。

（3）また、雇用創出と消費拡大といった政策を通じて、公共インフラ事業への再活性化を行う。公共事業省による139のプロジェクト（合計120億ドル相当）の再開には、358Km以上の道路建設、メトロ3号線及びトンネル部の事業及び小児病院の事業等が含まれ、4千人以上の雇用創出が見込まれている。

（4）さらに、外国投資の誘致を通じて、投資誘致機関(Propanama)による直接投資誘致のための経済政策の維持、コロン・フリーゾーンとパナマ・パシフィコ経済特区を同等化し、投資誘致と迅速かつ効率的な管理プロセスを促進していく。

●外交

1 茂木外務大臣のパナマ訪問

17日より19日まで、茂木外務大臣が当地を訪問し、コルティソ大統領を表敬した他、モイネス外務大臣との会談及びパナマ運河視察を行った。コルティソ大統領への表敬では、両首脳は、パナマ運河、投資、より緊密な貿易関係及び東京オリンピック・パラリンピック等に関して意見交換を行った。また、モイネス外相との会談では、新型コロナウイルス感染症対策への日本の支援、気候変動・教育及び東京オリンピック・パラリンピック等につき意見交換を行った他、日本とパナマの経済関係促進のため、経済対話を早期に実施することで一致した。また、モイネス外相よりは、明年に官民ミッションを日本に派遣することを表明した。

2 モイーズ・ハイチ大統領暗殺にかかるプレスリリースの発出

7日、パナマ外務省は、モイーズ・ハイチ大統領暗殺にかかる暴力行為に対し非難するとともに、ハイチの大統領ご親族及びハイチ国民に対し、深い哀悼の意と連帯を表明する旨のプレスリリースを発出した。

3 モイネス外相の墨訪問：第21回CELAC外相会合への出席

(1) 23日及び24日、モイネス外相は、墨において開催された第21回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合に出席した。モイネス外相等の出席者は、本年9月に墨で開催予定の第6回CELAC首脳会合で採択予定の合意文書案の修正協議を行い、ラテンアメリカ・カリブ宇宙機関（ALCE）創設にかかる協定に署名した。

(2) 23日、モイネス外相はエブラル墨外相と会談し、両者は二国間連携協議会（el Consejo de Asociacion）の開設に向け、戦略的連携協定に署名した。他、同外相は、コロンビア、ジャマイカ、トリニダード・トバゴ、ベリーズ、スリナム、ガイアナの外相とも会談を実施した。

4 モイネス外相のペルー訪問

28日、モイネス外相は、カスティージョ・ペルー新大統領就任式及びスペインからの独立200周年記念式典に出席するため、ペルーを訪問した。ペルー訪問中に、モイネス外相は、持続可能な開発に向けた同盟を強化するためのパナマの外交政策戦略の一環として、チリ、ブラジル及びパラグアイの首脳と会談した。

(了)